# 新技術概要説明資料(1/5)

						登銀	求No.	16	25	
カエム	調本田川エコンボートによる派洋測县(立郷測派)			収受受付年月日		平成29年9月19日				
名称	調査用リモコンボートによる深浅測量(音響測深)				条 <i>)</i>	変更受付年月日		1 ///(=0	07,10	
副題	GNSSと音響測深機を装備したリモコンボートに 測量システム			よる深浅	開発年		2008			
区分	□1. 工法 □2. ホ	幾械	□3. 材料 □4. 製品 ■5	. その他			番号:		5	
分類	3-13-1. その他/	/その	)他							
	■1.安全・安心 ■5.公共工事の品質確保・向上							1	5	
+. n. N								2		
キーワード	■ 3.情報化		□ 7. 伝統・型	を中・女	(K			3		
		1 4			, L	番号:		4		
国土交通省へ					₩ 43.45.日				F 6公 )	
国工父週旬への登録状況					登録番号			<u>(事前・事</u>		
	近畿地方整備局 平成25年3月16日							用促進技術 1 11		
88 40 TH					環境への影響抑制			11		
開発目標					資源・省エネ	ルギー		3		
(選択)	■3. 経済性向上		,,,,,,,,,		質の向上			6		
		<u> </u>	□8. 周辺環境への影響抑制 [				番号:	10		
	従来技術名:		レッド測深または音響測深				1	47	7	
	1. 経済性 2. 工程		. 向上(48%) □2. 同程度 短線(50%) □2. 同程度			番号: 番号:	1 1	47. 50.		
<b>オ田の製用</b>	2. 工程 ■1. 短縮(50%) □2. 同程度 □3. 増加( %) 3. 品質・出来型 □1. 向上 ■2. 同程度 □3. 低下				番号: 2		50.			
活用の効果	4. 安全性 ■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下					番号:	1			
	5. 施工性 ■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下					番号:	1			
	6. 環境 ■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下						1	1		
	7. その他		(定義済みの値なし)			番号:				
開発体制	■1. 単独 □2(1)	共同	引研究(民民) □2(2)共同研究	笠(民官)	□2(3)共同	研究(民学	番号:		1	
開発会社	コデン株式会	社_	販売会社 コデン株式	会社	協会名					
			名:		住所:					
	技術		不二総合コンサルタント(株)		公市北区初生町889番地の2 053-439-6120(直通)			2		
			部署: 測量調査部		TEL: 053-439-61 FAX: 053-439-61					
			<u>  例                                   </u>		FAX: mail:	takayuki@fujisougou.co.jp				
			鈴木高行		maii.	Lakayuki	<u>@rujrsoug</u> (	<u>Ju. 60. jp</u>		
問合せ先			七名:		住所:					
			不二総合コンサルタント(株) 静岡県海		静岡県浜松市	松市北区初生町889番地の2				
			<b>部署</b> :		TEL:	053-439-6112		(直通)		
					FAX:	053-439-6129				
		担当	(者名 : 岩部健治	mail:	<u>iwabe@fu</u>	jisougou.	<u>co. jp</u>			
	1) 何につい	て症	石部)))  Tをする技術なのか?							
			海岸、港湾等の水域部	の水深	を測定する	5.				
	・GNSS (VRS方式)との連動により、位置、水深、標高(T.P)の連続データ取得が可能。									
	・遠隔操作で安心:乗船しないので座礁転覆や転落の危険がない。何らかの理由で									
( <del>1</del> 1111 <del>1111</del> )	通信遮断されても船体は自動回帰する。									
(概要)	・クリーン性能:電動モーターのため排煙、油流出がなく、低騒音。									
	2) 従来はどのような技術で対応していたか?									
	・有人船(傭船)によるレッド・ロッド測深または音響測深で対応していた。 3)公共工事のどこに適用できるのか?									
	・地形測量等(深浅測量、堆砂測量、水路測量、施工管理測量)									

## 新技術概要説明資料(2/5)

新技術名称 調査用リモコンボートによる深浅測量(音響測深) 登録No. 1625

#### (特 徴)

#### (長 所)

- ・GNSS (VRS方式)採用のため、潮位観測を行うことなく、直接標高(T·P)算出が可能であり、 波浪による船体動揺の影響が軽減される。
- ・取得データはCSVのため、処理、加工が容易。
- ・座標入力した測線上、目的地を自動で走行。
- ・全長1.4m、重量16Kgと小型で一人で運搬が可能であり、陸上からのアプローチが可能。
- ・測深範囲0.5m~80m、操船可能範囲800mが可能。 (浅瀬に特化)
- ・操船と水深データ取得が同時に行えるためにコスト削減につながる。
- ・小型で操作性が良いため、データ取得数が従来工法より増加する。そのため、取得した データを活用し、三次元モデルの作製も可能である。
- ・データを多数取得できるため、異常値(誤差)が発見しやすく、精度向上につながる。

### (短 所)

- ・遠隔操作距離が最大800mであるため、操作する場所および電波通信の確保が必要である。
- ・GNSS受信不可能な場所では位置情報の取得が出来なく、自動走行が出来ない。
- ・陸上部、水深80m以上の水域部、流速2m/秒以上の水域部、極度に波浪の大きい(2m以上等) 水域部では観測不可である。

_ (施工方法)
①計測計画(現地踏査、測線計画)
$\downarrow$
②現地作業
$\downarrow$
③解析処理(水深データ処理)
$ \downarrow$
④成果作成(図化など)

(施工単価等)	□1(1).歩掛りあり(標準) ■1(2).歩掛りあり(暫定) □2.歩掛りなし	1(2)
掲載刊行物	建設物価 ( 有 ・ 無 ) 掲載品目 (	)
7句取 111 170	積算資料 ( 有 ・ 無 ) 掲載品目 (	)
その他 (カタログ等)		

#### 積算資料等

- ○設計業務等標準積算基準書(平成29年度版 監修国土交通省大臣官房技術調査課)
- ○当社積算資料
- ○工期短縮資料

#### 施工管理基準資料等

#### 業務委託共通仕様書

国土交通省公共測量作業規程

#### 新技術概要説明資料 (3/5)

新技術名称 調査用リモコンボートによる深浅測量(音響測深) 登録No. 1625

## (適用条件)

#### (適用できる条件)

現場条件:無線LANの電波通信(距離間800m)が確保されている。 自然条件:流速2m/秒以下、波高2m以下、水深0.5~80mの水域部

適用範囲:①適用可能な範囲:水域部(流速2m/秒以下)

②特に効果の高い適用範囲:水深1~3mの水域部

#### (適用できない条件)

適用できない範囲:陸上部、水深80m以上の水域部、流速2m/秒以上の水域部、極度に波浪の

大きい(2m以上等)水域部

#### (設計上の留意点)

・水深1~3mで最大の効果が得られるが、水深3mより深いフィールドでは、現場条件により従来技術のほうが船速(=効率面)で有利となることもある。このため、作業計画段階において、対象フィールド及び計測手法の特徴を踏まえた計画の立案により、計測手法の選択を行うことが必要である。

# (施工上・使用上の留意点)

- ・遠隔操作距離が最大800mであるため、操作する場所の確保が必要である。
- ・波浪によるリモコンボート動揺の影響は、指向角が6°であるため誤差の軽減が図れるが、 記録データは誤差を完全には除去できないため、処理過程において適切な凹凸補正処理を 行う必要がある。(従来技術と同様)

## (残された課題と今後の開発計画)

- ・GNSS受信不可能な場所での位置情報取得方法
  - →自動追尾型トータルステーションとの組み合わせを検討

#### (実験等作業状況)

#### 添付資料参照

#### (添付資料)

# 実験資料等

資料1河川におけるリモコンボート計測作業報告 (NETIS登録資料)

資料2無人調査用リモコンボートデータ点検資料(NETIS登録資料)

#### その他

特 許	■1.有り(番号:	) □2. 出願中	□3. 出願予定	□4:無し	番号	1		
					特許番号	3939710		
実用新案	□1.有り(番号:	) □2. 出願中	□3. 出願予定	■4:無し	番号	4		
					新案番号			
	建設技術評価制度番	号	民間開発建設技術の審査証明番号					
	証明年月日		証明年月日					
評価・証明								
	制度等の名称		証明機関					
	制度等の名称		制度等の名称					
	制度名、番号		制度名、番号					
その他の								
制度等に	証明年月日		証明年月日					
よる証明								
	証明機関		証明機関					
	証明範囲		証明範囲					

新技術概要説明資料(4/5)

	dam I I I I ar		月資料(4/5)			
	新技術名称	調査用リモコン	/ボートによる深浅測	引量(音響測深)	登録No.	1625
施工実績	実績件数	公共機関:	26 民間		8	
	発 注 者	施工時期	工事	名	TECRIS登	、 緑No.
	静岡県浜松土木事務所	2016/6/16~ 2017/03/24	平成28年度[第28- 号]浜松五島海岸 海 伴う深浅測量業務委	·K5401-01 异岸養浜事業に	4026641089	
	静岡県浜松土木事務所	2016/6/16~ 2017/03/24	平成28年度[第28- 号]浜松篠原海岸 侵 (防災•安全交付金) 業務委託	是食対策事業	4026641596	
	静岡県浜松土木事務所	2015/6/25~ 2016/03/25	平成27年度[第27-号]浜松篠原海岸 侵 (防災·安全交付金)以 業務委託	是食対策事業	4023140381	
	静岡県浜松土木事務所	2015/5/19~ 2015/10/30	平成27年度[第27- 号]浜松五島海岸海 う深浅測量業務委託	岸養浜事業に伴	4022797046	
		2014/7/23~ 2015/03/25	平成26年度[第26- 号] 浜松五島海岸 に伴う深浅測量業務	海岸養浜事業	4019933356	
	国土交通省中部地方整	2012/12/28~ 2013/03/25	平成24年度 菊川水 横断測量	系菊川河川縦	4014223084	
		2014/11/6~ 2014/12/25	船明発電所 船明ダ 工事(その2)	ム下流河床測量		
	電源開発株式会社 中部支店 佐久間電力所	2014/5/28~ 2014/07/31	船明発電所 船明ダ、 工事	ム下流河床測量		
		2013/6/28~ 2013/07/31	船明発電所 船明ダ、 工事	ム下流河川測量		
	中村建設株式会社	2012/11/1~ 2012/11/20	浜名湖東急サニーパ 業務	一ク深浅測量		

# 新技術概要説明資料(5/5)

新技術名称 調査用リモコンボートによる深浅測量(音響測深)

登録No.

1625



システム全景



陸上部装備



リモコンボート(全景)



リモコンボート(後方より)



従来工法作業風景



リモコンボート作業風景(リリース)

# 新技術概要説明資料 (5/5)

新技術名称 調査用リモコンボートによる深浅測量(音響測深)

登録No.

1625



リモコンボート作業風景(海岸)



リモコンボート作業風景(海岸)



リモコンボート作業風景(湖沼)



リモコンボート作業風景(河川)



